

## 東海女子大学 研究業績一覧

2003年 1月～12月

研究業績を学科別に氏名の五十音順に掲載し、著書、論文、翻訳、調査報告等については、〔書名、論文名、共著者名、発行所、雑誌名巻号、ページ〕を、学会発表、講演、公演、展覧会等は、〔発表者・演者・出品者名、題名、学会・主催団体名、開催場所、発表月〕を記載することとした。

### 文 学 部

#### 総 合 福 祉 学 科

#### 天 沼 香 (AMANUMA, Kaoru)

- <著書> 『ある科学者の「生老病死」と介護～現実には記憶のなかに～』(他1名との共著、ちなみに、本書の表紙絵、装丁、装画は、本学教授・高畠純画伯の手になるものである)、pp.330, 第三書館。
- <著書> 『家永三郎～人と学問～』(桜井徳太郎, 西山松之助, 松永昌三, 松本三之介他との共著), 家永三郎先生を偲ぶ会編, 刊。
- <論文> 「日本精神史としての『死生観』研究序説」『東海女子大学紀要』第22号, pp.1-11.
- <論文> 'Relationship between living Circumstances and life Satisfaction in Elders' (with members of Research Institute of Bio-science, Prof. Dr. Masahide Omori, Prof. Kazuko Yamazawa, et al.), "The Journal of Education and Health Science", Vol.48, No.5.
- <論評> 「家永三郎という生き方～魂の自由を生涯追求～」『岐阜新聞』サンデーコラム, 1月5日付朝刊。
- <論評> 「イスタンブールからの手紙—日本におけるトルコ年に寄せて—・～難民や経済困窮懸念～」『岐阜新聞』サンデーコラム, 3月16日付朝刊。
- <論評> 「笑う意義と人間関係～『異』なれど仲間大切～」『岐阜新聞』サンデーコラム, 5月25日付朝刊。
- <論評> 「想像力から発する思いやり～現代社会にこそ必要～」『岐阜新聞』サンデーコラム, 7月27日付朝刊。
- <論評> 「国語問題・想像力から発する思いやり」『岐阜新聞』, 10月16日付朝刊。
- <論評> 「拝啓小泉純一郎総理大臣殿～今からでも遅くはない～」『岐阜新聞』サンデーコラム, 12月28日付朝刊。
- <講演> 「移民の歴史人類学(1)～ミクロな移民研究とマクロな移民研究の有機的な相互連関のために～」(つくば市 筑波大学, 5月)。
- <講演> 「移民の歴史人類学(2)～資本主義の発達と移民との相関関係[殊に後発資本主義国家としての日本からの移民の行方は何処に]～」(つくば市 筑波大学, 5月)。
- <講演> 「移民の歴史人類学(3)～植民と移民・満州移民という名の植民, カナダ, ハワイ, ボリビア等への移民をかんがえる～」(つくば市 筑波大学, 6月)。
- <講演> 「移民の歴史人類学(4)～移民研究の方法としてのパーティシパント・オブザベーション, オーラル・ヒストリー, 疫学的調査, その他～」(つくば市 筑波大学, 6月)。
- <講演> 「笑い合える人間関係, 頑張る人間関係, 思いやる人間関係」岐阜県立多治見看護専門学校学園祭記念講演 (多治見市 多治見病院講堂, 7月)。

<講演> 「男と女は理解しあえるのか、理解しあえないのか～歴史学・文化人類学・社会医学の視座から考える～」(名古屋市 名古屋市立富田高等学校, 10月).

蘭 和 真 (ARARAGI, Kazuma)

<分担執筆> 「バドミントン」『アクティブスポーツ総合版』大修館書店, pp.239-248.

<分担執筆> 「バドミントン」『アクティブスポーツ女子版』大修館書店, pp.255-264.

<論文> 「東京パラリンピック大会と障害者スポーツ」『東海女子大学紀要』第22号, pp.13-23.

<講演> 「子供の心身の健康 ―子供の運動と体力について考えてみよう―」羽島市子育て支援事業講演会(羽島市 社会福祉法人正木保育園, 5月).

<講演> 「福祉とスポーツ ―人生を豊かにするために―」東海女子大学特別公開講座, 各務原市教育委員会公開講座(岐阜市 ハートフルスクエアG, 12月, 各務原市 中央図書館視聴覚ホール, 11月).

宇都宮 みのり (UTSUNOMIYA, Minori)

<講演> 「家族もいきいきすこやかライフ―介護に生かすコミュニケーション―」社会福祉法人桜友会在宅介護支援センター主催, 介護教室(介護支援室, 3月).

<講演> 「セミナー総括:傾聴ボランティアのすすめ」知多市社会福祉協議会主催, 平成15年度精神保健福祉ボランティア養成セミナー(知多市社会福祉協議会福祉活動センター, 12月).

<論文> 「学生が主体的に学ぶ精神保健福祉援助演習―教える―教えられる関係からの脱却」『東海女子大学紀要』第22号, pp.25-44.

<学会発表> 「東海女子大学における精神保健福祉士実習の『ふりかえり学習』―気づきを考えるプロセスから」(共同研究者, 嶋守さやか) 第2回精神保健福祉学会, (仙台国際センター, 5月).

<学会発表> 「大学と現場を結ぶスーパービジョン・システムの可能性」 第36回日本福祉大学社会福祉学会(日本福祉大学研究本館, 6月).

小 高 良 友 (KODAKA, Yoshitomo)

<論文> 「『ゲイの結婚』について考える」『東海女子大学紀要』第22号, pp.45-50.

子 安 崇 雄 (KOYASU, Takao)

<講演> 「ボランティア ～いのちの電話活動を通して～」 岐阜県健康長寿財団主催, 岐阜県シルバー大学岐阜校(岐阜市 岐阜県福祉農業会館, 1月).

<講演> 「ボランティア ～いのちの電話活動を通して～」 岐阜県健康長寿財団主催, 岐阜県シルバー大学大垣校(大垣市 大垣市総合福祉会館, 1月).

<講演> 「ボランティア ～いのちの電話活動を通して～」 岐阜県健康長寿財団主催, 岐阜県シルバー大学恵那校(恵那市 恵那文化センター, 1月).

<講演> 「部下の育成とカウンセリングマインドⅡ ステップアップコース」 雇用能力開発機構岐阜センター主催(岐阜市 明治生命岐阜金町ビル, 2月).

<講演> 「障害者(児)福祉の制度とサービス」 介護労働安定センター岐阜支部主催, 介護労働講習・訪問介護員養成研修(岐阜市 介護労働安定センター岐阜支部研修室, 4月).

<講演> 「障害者(児)福祉の制度とサービス」 (株)新生メディカル主催, 2級課程訪問介護員養成研修(岐阜県揖斐郡池田町 サンビレッジ国際医療専門学校, 4月).

- <講演> 「障害者(児)福祉の制度とサービス」 (株)新生メディカル主催, 2級課程訪問介護員養成研修 (岐阜県揖斐郡池田町 サンビレッジ国際医療専門学校, 4月).
- <講演> 「障害者(児)福祉の制度とサービス」 介護労働安定センター岐阜支部主催, 介護労働講習・訪問介護員養成研修 (岐阜市 介護労働安定センター岐阜支部研修室, 5月).
- <講演> 「障害者(児)福祉の制度とサービス」 介護労働安定センター岐阜支部主催, 介護労働講習・訪問介護員養成研修 (岐阜市 介護労働安定センター岐阜支部研修室, 6月).
- <講演> 「精神に障害のある人々への介護の実際」 (株)やさしい手華陽主催, 1級課程訪問介護員養成研修 (岐阜市 (株)やさしい手華陽研修室, 6月).
- <講演> 「ボランティア ～いのちの電話活動を通して～」 岐阜県健康長寿財団主催, 岐阜県シルバー大学多治見校 (多治見市 多治見市文化会館, 7月).
- <講演> 「ボランティア ～いのちの電話活動を通して～」 岐阜県健康長寿財団主催, 岐阜県シルバー大学大垣校 (大垣市 ソフトピアジャパン, 8月).
- <講演> 「障害者(児)福祉の制度とサービス」 介護労働安定センター岐阜支部主催, 介護労働講習・訪問介護員養成研修 (岐阜市 介護労働安定センター岐阜支部研修室, 8月).
- <講演> 「ボランティア ～いのちの電話活動を通して～」 岐阜県健康長寿財団主催, 岐阜県シルバー大学岐阜校 (岐阜市 県福祉農業会館, 9月).
- <講演> 「自殺予防のボランティア ～いのちの電話の活動を通して～」 岐阜生と死を考える会主催, (関市 中部学院大学, 9月).
- <講演> 「障害者(児)福祉の制度とサービス」 介護労働安定センター岐阜支部主催, 介護労働講習・訪問介護員養成研修 (岐阜市 介護労働安定センター岐阜支部研修室, 9月).
- <講演> 「障害者(児)福祉の制度とサービス」 介護労働安定センター岐阜支部主催, 介護労働講習・訪問介護員養成研修 (岐阜市 介護労働安定センター岐阜支部研修室, 10月).
- <講演> 「いのちの電話ボランティアに学ぶ心の健康」 東海女子大学特別公開講座 (岐阜市 ハートフルスクエアG, 11月).
- <講演> 「いのちの電話ボランティアに学ぶ心の健康」 各務原市教育委員会主催, 東海女子大学特別公開講座 (各務原市 中央公民館, 11月).
- <講演> 「障害者(児)福祉の制度とサービス」 介護労働安定センター岐阜支部主催, 介護労働講習・訪問介護員養成研修 (岐阜市 介護労働安定センター岐阜支部研修室, 11月).
- <講演> 「精神に障害のある人々への介護の実際」 (株)やさしい手華陽主催, 1級課程訪問介護員養成研修 (岐阜市 (株)やさしい手華陽研修室, 11月).
- <講演> 「福祉新時代に求められる援助者の心構え」 岐阜県社会福祉協議会主催, 平成15年度 福祉の仕事への就職支援講習会 (可児市 文化創造センター, 11月).
- <講演> 「障害者(児)福祉の制度とサービス」 介護労働安定センター岐阜支部主催, 介護労働講習・訪問介護員養成研修 (岐阜市 介護労働安定センター岐阜支部研修室, 12月).

嶋 守 さやか (SIMAMORI, Sayaka)

- <論文> The Minamata Disease in Future: The lacking viewpoint of the medical treatment and welfare for Minamata disease patients, 『名古屋外国語大学外国語学部紀要』第26号, pp.115-138.
- <書評> 『『エミール・デュルケム—社会の道徳的再建と社会学』』(中島道男著), 『デュルケム／デュルケム学派研究会 ニューズレター』第3号, pp.6-8.
- <学会発表> 「東海女子大学における精神保健福祉士実習の「ふりかえり学習」～気づきを考

えるプロセスから」(宇都宮みのりとの連名), 第2回精神保健福祉士学会(仙台国際センター, 5月).

<学会発表> 「T大学における精神保健福祉士実習指導『ふりかえり学習』の意義と課題～学生の語りに注目して」(宇都宮みのりとの連名), 第35回日本福祉大学社会福祉学会大会(日本福祉大学, 6月).

<講演> 「成年後見制度および地域福祉権利擁護事業利用における問題点と課題」 岐阜地域福祉権利擁護センター生活支援員研修会(各務原市総合福祉会館, 2月).

高 畠 純 (TAKABATAKE, Jun)

<絵本> 『ブターラとクマラ ベッタベタ』フレーベル館.

<絵本> 『ワニぼうのかいすいよく』(内田麟太郎・文) 文溪堂.

<絵本> 『だじゃれしょくぶつえん』(中川ひろたか・文) 絵本館.

<絵本> 『おいしい おいしい』ベネッセコーポレーション.

<絵本> 『あめ』ベネッセコーポレーション.

<絵本> 『オー・スッパ』(越野民雄・文) 講談社.

<童話> 『モンスター・ホテルで おどみましょう』(柏葉幸子・作) 小峰書店.

<童話> 『モンスター・ホテルで パーティーだ』(柏葉幸子・作) 小峰書店.

<童話> 『わたしはクジラ岬にすむクジラといいます』(岩佐めぐみ・作) 偕成社.

<童話> 『ぼくの犬, バモス』(山下篤・作) 偕成社.

<童話> 『アフリカないしょだけどほんとだよ』(竹下文子・作) ポプラ社.

<月刊誌> 「4ページえほん —おおかみとひつじ—」『おひさま』1月号, 小学館, pp.48-51.

<月刊誌> 「4ページえほん —かくれんぼ—」『おひさま』3月号, 小学館, pp.32-35.

<月刊誌> 「4ページえほん —よういドン—」『おひさま』5月号, 小学館, pp.34-37.

<月刊誌> 「4ページえほん —ふしぎなふえ—」『おひさま』7月号, 小学館, pp.80-83.

<月刊誌> 「4ページえほん —クジラのうえに—」『おひさま』9月号, 小学館, pp.42-45.

<月刊誌> 「4ページえほん —あき—」『おひさま』11月号, 小学館, pp.50-53.

<月刊誌> 「おやこペンギンジェイとドゥ」(片平直樹・文) 『おはなしチャイルド』11月号 第344号, チャイルド本社, pp.1-40.

<季刊誌> 「Peeman スーパーエッセイ —アイロン—」(中川ひろたか・文) 『芽』冬号, JULA 出版局, pp.42-45.

<季刊誌> 「Peeman スーパーエッセイ —習得—」(中川ひろたか・文) 『芽』春号, JULA 出版局, pp.36-39.

<季刊誌> 「Peeman スーパーエッセイ —はじめての保育—」(中川ひろたか・文) 『芽』夏号, JULA 出版局, pp.36-39.

<表紙イラストレーション> 『月刊 保育とカリキュラム』4月号～12月号, ひかりのくに.

<表紙とイラストレーション> 『こども地球白書2003—2004』(クリストファー・フレイヴィン・編著) 朔北社.

<イラストレーション> 『2004年カレンダー』絵本館.

<イラストレーション> 『2004年カレンダー』美濃加茂市民ミュージアム.

<エッセイ> 「ぼうらぼうら —五月—」『こどもの本』5月号, 日本児童図書出版協会, pp.6-7.

<エッセイ> 「ぼうらぼうら —雨の日—」『こどもの本』6月号, 日本児童図書出版協会, pp.6-7.

- <エッセイ> 「ぶうらぶうら ー夏だ!ー」『こどもの本』7月号, 日本児童図書出版協会, pp.6-7.
- <エッセイ> 「ぶうらぶうら ー歩いてー」『こどもの本』8月号, 日本児童図書出版協会, pp.6-7.
- <エッセイ> 「ぶうらぶうら ー台風の日ー」『こどもの本』9号, 日本児童図書出版協会, pp.6-7.
- <エッセイ> 「ぶうらぶうら ー温泉でユックリー」『こどもの本』10月号, 日本児童図書出版協会, pp.6-7.
- <エッセイ> 「ぶうらぶうら ーこたつー」『こどもの本』11月号, 日本児童図書出版協会, pp.6-7.
- <エッセイ> 「ぶうらぶうら ークリスマスー」『こどもの本』12月号, 日本児童図書出版協会, pp.6-7.
- <収録> 「ニッポンの絵本作家100人パーフェクト・ガイド」『月刊モエ』1月号, 白泉社, pp.24.
- <新聞インタビュー> 「絵本の力」『中日新聞』12月23日, 文化欄.
- <イベント> 「講談社絵本コンサート 本とあそぼう」講談社主催 (東京 講談社ホール, 1月).
- <講演> 「絵本のおもしろさ」犬山市立図書館主催 (犬山市 犬山市立図書館, 2月).
- <講演> 「えほんナンドカンド」京都市生涯学習振興財団主催 (京都市 京都市生涯学習総合センター, 11月).
- <ワークショップ> 「アートな1日講座 ー立体クリスマスカード作りー」美濃加茂市民ミュージアム主催 (美濃加茂市 市民ミュージアム, 12月).
- <展覧会> 「巡り会った100冊」ピンポイントギャラリー主催 (東京 ピンポイントギャラリー, 2月).
- <展覧会> 「絵本作家の世界展」アルビオンアートミュージアム主催 (奈良 アルビオンアートミュージアム, 9月).
- <展覧会> 「木の絵皿展」ピンポイントギャラリー主催 (東京 ピンポイントギャラリー, 12月).
- <その他> 「ブターラとクマーラ ベッタベタ」『NHK教育テレビ, てれび絵本』10月1日放送.

#### 原 田 勇 彦 (HARADA, Takehiko)

- <分担執筆> 「鼓室形成術」(加我君孝, 市村恵一, 新美成二編)『新臨床耳鼻咽喉科学, 第5巻ー基本手術手技』中外医学社, pp.25-36.
- <分担執筆> 「真珠腫の手術」(加我君孝, 市村恵一, 新美成二編)『新臨床耳鼻咽喉科学, 第5巻ー基本手術手技』中外医学社, pp.37-43.
- <分担執筆> 「咽頭痛(嚥下痛)」(森山 寛, 岸本誠司, 小林俊光, 川内秀之編)『今日の耳鼻咽喉科頭頸部外科治療指針, 第2版』医学書院, pp.45-46.
- <分担執筆> 「悪性外耳道炎」(森山 寛, 岸本誠司, 小林俊光, 川内秀之編)『今日の耳鼻咽喉科頭頸部外科治療指針, 第2版』医学書院, p.122.
- <分担執筆> 「難聴, 耳鳴」(杉本恒明, 小俣政男編)『内科鑑別診断学, 第二版』朝倉書店, pp.359-364.

<論文> 「ウイルス性難聴」『東海女子大学紀要』第22号, pp.51-60.

## 総合文化学科

大 平 晃 久 (OHIRA, Teruhisa)

<分担執筆> 「歴史的環境保全と農地―城下町の保全・整備計画を対象として―」(石原潤編)『農村空間の研究(上)』大明堂, pp.452-469.

<論文> 「信念・知識体系の一環としての地名―中島氏と成瀬氏の批判に込めて―」『地理学評論』第76巻, 第3号, pp.180-183.

<論文> 「場所をめぐる意味に関する研究―構築主義的立場から―」京都大学大学院人間・環境学研究科博士学位論文.

北 山 長 貴 (KITAYAMA, Nagaki)

<学会発表> 「英英辞書の発音表記について―ストレス移動表記の比較・分析―」日本英語音声学会中部支部第12回研究大会(名古屋女子大学, 6月).

<学会発表> 「小学校英語と大学生英語ボランティア活動: University Students as Elementary School Volunteer English Assistants」日本英語音声学会第8回北海道全国大会(北海道医療大学, 10月).

高木(北山) 眞理子 (TAKAGI-KITAYAMA, Mariko)

<書評> 「矢口祐人著『ハワイの歴史と文化―悲劇と誇りのモザイクの中で―』」『東京大学アメリカ太平洋研究』Vol.3, pp.211-217.

<書評> 「『生寡婦』と呼ばれた女たち―激動の時代を中国とカナダに生きた中国人女性」(ユエンフォーン・ウーン著『生寡婦<グラスウィドウ>』吉原和夫監修, 池田年穂訳〔風響社〕への書評)『アジア遊学』No.57, 勉誠出版, pp.158-161.

<学会発表> 「ハワイ日系二世, 三世の日本への想い: オーラル・ヒストリーから」「オーラル・ヒストリー研究交流フォーラム〜米国オーラル・ヒストリー学会前会長を迎えて〜」(日本オーラル・ヒストリー学会第1回設立大会)(中央大学後楽園キャンパス, 9月).

<その他> 「アメリカにおけるオーラル・ヒストリーと女性史研究〜米国オーラル・ヒストリー学会前会長を迎えて〜」名古屋アメリカン・センター主催講演会におけるコメント(名古屋アメリカン・センター, 9月).

竹 原 城 文 (TAKEHARA, Shirofumi)

<展覧会> 「第29回東京春季創画展」(東京都 日本橋高島屋, 2月).

<展覧会> 「愛知県芸術選奨文化賞受賞」(2月).

<展覧会> 「第29回京都春季創画展」(京都市美術館, 4月).

<展覧会> 「第3回創画会会員小品展」(名古屋市 松坂屋本店画廊, 6月).

<展覧会> 「第29回春季合同創画展」(名古屋市 松坂屋美術館, 6月).

<展覧会> 「風景の会展 祭りを描く」(名古屋市 松坂屋本店画廊, 7月).

<展覧会> 「中部総合美術展」(愛知県美術館, 8月).

<展覧会> 「創画会中部研究会展」(愛知県美術館, 8月).

<展覧会> 「風景の会展 祭りを描く」(豊川市 桜ヶ丘ミュージアム, 9月).

- <展覧会> 「第30回創画展」(東京都 上野美術館, 10月).
- <展覧会> 「第30回創画展」(京都市美術館, 11月).
- <展覧会> 「第30回創画展」(愛知県美術館, 11月).
- <展覧会> 「第2回檜の木会展」(尾西市 三岸節子美術館, 12月).

林 尚 子 (HAYASHI, Hisako)

- <展覧会> 「岐阜市美術展覧会」岐阜市主催 (岐阜市文化センター, 10月).
- <展覧会> 「岐阜・内モンゴル美術展」 岐阜・内モンゴル美術展実行委員会主催 (内蒙古フホト 内蒙古美術館, 8月).
- <展覧会> 「ザ・イラストレーター3」 ギャラリー・カタカタ主催 (東京都世田谷区 ギャラリー・カタカタ, 10月).

人間関係学部

心 理 学 科

石 川 雅 健 (ISHIKAWA, Masayoshi)

- <分担執筆> 「第7章 情緒障害児の『こころ』」(池田勝昭・目黒達哉共編著)『障害者の『こころ』—育ち, 成長, かかわり—』学術図書出版, pp.100-112.
- <論文> 「UPI (精神健康調査) からみた現代女子短大生のパーソナリティ」『東海女子大学紀要』第22号, pp.75-79.

今 井 秀 周 (IMAI, Hidenori)

- <論文> 「中国蝗災対策史—蝗は天災か人災か—」『東海女子大学紀要』第22号, pp.1-21.
- <学会発表> 「契丹遼の神門について—鳥居の起源に関する一資料—」日本宗教文化史学会第7回大会 (京都女子大学, 11月).

川 口 豊 (KAWAGUCHI, Yutaka)

- <共同執筆> 「声に出すこと, 歌うこと」(日本多発性硬化症友の会, 7月).
- <論文> 「Effects of Music Therapy —Changes in physical condition in listening music—」『The Journal of Education and Health Science』48(5), pp.405-407, 2003.
- <学会発表> 「Music Therapy —study of music on music therapy」第11回日・韓健康教育シンポジウム記念大会兼第51回日本教育医学会大会 (岐阜医療技術短期大学, 8月).
- <学会発表> 「音楽療法—音楽と効果—」第62回日本公衆衛生学会総会 (京都大学, 10月).
- <講演> 「命の輝きを見つめて」多発性硬化症硬化症友の会 (中京大学, 6月).
- <公演> 「コンサート「命の輝きを見つめて」」(京都 ノートルダム女子大学ケヤキホール, 7月).
- <公演> 「リサイタル シューベルト作曲歌曲集「美しき水車の娘」」主催: 歌を愛する仲間たち (名古屋電気文化会館ザ・コンサートホール, 11月).

神 戸 博 一 (KOBE, Hirokazu)

- <講演> 「どんなことでも共同で—夫婦・親子・男女のあり方」私とあなたのさわやかライフ 第1回講座 各務原市教育委員会 各務原市男女共同参画社会推進委員会共催 (各務原市, 12月).

<その他> 「かかみがはら男女共同参画プランについて」 かかみがはら男女共同参画プラン  
策定記念講演会にて 岐阜圏域ぎふ男女共同参画プラン推進会議主催（各務原市，6月）。

友 永 利佳子（TOMONAGA, Rikako）

<論文> Biro, D., Inoue-Nakamura, N., Tonooka, R., Yamakoshi, G., SousaC., & Matsuzawa, T. 2003 Cultural innovation and transmission of tool use in wild chimpanzees: evidence from field experiments. *Animal Cognition* 6, pp.13-216（Tonooka, R. は研究用の名前）。

長谷川 博 一（HASEGAWA, Hirokazu）

<著書> 『たすけて！ 私は子どもを虐待したくない—世代連鎖を断ち切る支援』，径書房。

<著書> 『よい子になりたい—少女の心に棲みつく悪魔』（共著者：刹那まこと），樹花舎。

<論文> 「巻頭言 臨床催眠の心」『臨床催眠学』第4巻，2-3。

<論文> 「解離性障害と犯罪—心の専門家にできること—」『臨床催眠学』第4巻，4-11。

<論文> 「人間関係づくりが苦手な親・教師—育てる側の問題」『児童心理 実践友だちづくりハンドブック』第57巻，第6号，pp.26-32。

<論文> 「カウンセリングのケーススタディ 連載第5回～12回」『教職課程』第29巻第1号～第29巻第12号。

<論文> 「緊急寄稿 長崎12歳少年の事件を読み解く—人格の「光」と「影」—」『教職課程』第29巻，第15号，pp.97-100。

<論文> 「しあわせ通信 連載第1回～第6回」『ファミリス』第120巻～第125巻。

<論文> 「続・しあわせ通信 連載第1回」『ファミリス』第126巻。

<論文> 「しつけと少年事件：お母さんはしつけをしないで 連載第1回」『草思』第6巻第1号，pp.45-52。

<論文> 「犯罪の心に向き合うこと」『メールマガジン少年問題』第10号，pp.20-23。

<解説> 「ひきこもる人，ひきこもりを生む社会」（林尚実著）『ひきこもりなんて，したくなかった』草思社，pp.193-205。

<学会特別講演> 「子どもを愛せない親たち」日本小児救急医学会第17回大会特別講演（埼玉医科大学，6月）。

<学会シンポジウム> 「幼児期の被虐待経験と非行・犯罪」法と心理学会第4回大会（東北大学，10月）。

<講演> 上記のほか，行政・民間主催等，多数。

<シンポジウム> 上記のほか，パネラーとして多数。

<新聞連載> 「断ち切れ虐待の連鎖」連載第16回～64回『琉球新報』1月3日～12月26日，毎週金曜日朝刊。

<ニュースレター編集> 「親子連鎖を断つ会ニュースレター」第44号～第52号，親子連鎖を断つ会。

<メディア活動> 雑誌インタビュー，テレビ出演，新聞コメント，記者会見など多数。

<司法活動> 池田小学校児童殺傷事件被告人との接見2回（大阪拘置所，9月）。

<司法活動> 刑事裁判被告人への犯罪心理鑑定3件（岡崎地方裁判所，名古屋地方裁判所，名古屋高等裁判所）。

<研修会> 虐待，ドメスティックバイオレンス，少年犯罪，教育相談等で多数。

<トークショー> 「東ちづるとのトークショー」御嵩町教育委員会主催（可児郡御嵩町，1月）。



- <トークショー> 「子どもの心に出会う」 東海芸術祭ミニトークショー（東海女子大学，12月）。
- <社会活動> 不登校児童へのメンタルフレンド派遣，児童相談所等自治体と連携。

花 井 正 樹（HANAI, Masaki）

- <分担執筆> 「適応指導教室での実践」『児童心理』臨時増刊788，pp.46-50.
- <分担執筆> 「適応指導教室の現状と今後の展望」『月刊生徒指導』7月号，pp.24-28.
- <学会発表> 「不登校の変容過程—経験者の視点から—」日本カウンセリング学会第36回大会（梅田真希と共同でのポスター発表）。
- <講演> 「児童とのかかわり方について」名古屋市教育委員会ふれあいフレンド研修会（名古屋市 教育館，5月）。
- <講演> 「学校という場の常識とS Cへの期待」愛知県臨床心理士会学校臨床研修会（名古屋市 中京大学，5月）。
- <講演> 「児童生徒の心の声を聴く」各務原市学校教育相談研修会（各務原市 産業文化センター，7月）。
- <講演> 「児童生徒理解」文部科学省独立行政法人教員研修センター（つくば市 独立行政法人教員研修センター，8月）。
- <講演> 「保護者への対応」鳥取県教育センター（米子市文化ホール，8月）。
- <講演> 「事例検討による個への理解と対応」名古屋市教育センター（名古屋市教育センター，8月）。
- <講演> 「発達段階に応じた児童生徒への対応」恵那郡学校保健研究会（恵那市 東野公民館，9月）。
- <講演> 「不登校の子どもの理解と援助」長野県総合教育センター（塩尻市 長野県総合教育センター，9月）。
- <講演> 「不登校の子供の理解と援助」岐阜県立華陽フロンティア高等学校心の輪をつなぐ会（華陽フロンティア高等学校，10月）。
- <講演> 「人間のこころのふしぎ」岐阜県立大垣東高等学校（大垣東高等学校，11月）。
- <講演> 「青年期の危機と中年期の危機」岐阜県立岐陽高等学校校内研修会（岐陽高等学校，12月）。
- <講演> 「発達段階から見た子どもの姿」尾張旭市教育委員会（尾張旭市勤労青少年センター，12月）。
- <講演> 「不登校対策の充実」岐阜県教育委員会学校支援課（岐阜県総合教育センター，12月）。

浜 田 美佐子（HAMADA, Misako）

- <論文> 「エミリー・ディキンソンの『少女』の自画像」『東海女子大学紀要』第22号，pp.81-96.
- <学会発表> 「エミリー・ディキンソンの199番，288番，754番の詩を読む」日本アメリカ文学会中部支部12月例会／読書会「エミリー・ディキンソンの詩を読む」第三コメンテーター（中京大学，12月）。
- <講演> 逐次通訳 第五回ジョン・ウィリアムズ担当「イギリス人の余暇の過ごし方」東海女子大学第8回公開講座（東海女子大学，11月）。

林 美 朗 (HAYASHI, Yoshiro)

- <論文> 「感情障害における Visual Backward Masking について」『臨床精神医学』第32巻, 第4号, pp.435-447.
- <論文> 「Mental Illness in The Tale of Genji」『岐阜大学医学部紀要』第51巻, 第2号, pp.197-200.
- <論文> 「解離性(転換性)障害にハロペリドールが著効した1例—声を封印した青年—」(共著)『精神医学』第45巻, 第6号, pp.663-665.
- <論文> 「日本の古典文学に見る「不食」」『日本医事新報』第4109号, pp.46-48.
- <論文> 「心身問題に対する一答案」『日本医事新報』第4115号, pp.57-59.
- <論文> 「ハロペリドールが有効であった解離性(転換性)障害の二例」『精神科治療学』第32巻, 第9号, pp.1099-1103.
- <論文> 「The History of Psychiatry in Japan —Notional Changes Before the Modern Ages—」『岐阜大学医学部紀要』第51巻, 第4号, pp.245-248.
- <論文> 「「これは論文ではない」」『ぎふ精神保健福祉』第39巻, 第2号, pp.121-123.
- <論文> 「Zen and Zen Gardens」篠田知和基編『神話・象徴・文学Ⅲ』(楽浪書院刊)所収, pp.151-160.
- <論文> 「作家のノイローゼと自家治療」『ぎふ精神保健福祉』第40巻, 第1号, pp.136-140.
- <学会発表> 「『喫茶養生記』の近年五種の病相」第7回精神医学史学会(名古屋大学, 10月).
- <国際会議> Zen and Zen Gardens~17th Congress of the International Society of Art and Psychopathology (ギリシア, 10月).
- <学会座長> 第50回日本病跡学会(沖縄 那覇, 4月).
- <学会座長> 第7回精神医学史学会(名古屋大学, 10月).
- <精神鑑定> 毒物及び劇物取締法違反, 器物損壊被疑事件の簡易鑑定(6月10日).
- <精神鑑定> 窃盗被疑事件の簡易鑑定(12月2日).
- <精神鑑定> 窃盗被疑事件の簡易鑑定(12月15日).
- <エッセイ> 「無力の効能」『心山寺報』第6号, pp.40-45.
- <エッセイ> 「精神医学の試験」『北海道近代文学懇話会会報』第14号, p.4.

堀 内 孝 (HORIUCHI, Takashi)

- <学会発表> 「Autobiographical encoding and self-reference effect」The 4th Tsukuba International Conference (Tsukuba, March).
- <学会発表> 「エピソード検索における回想経験と自他の違いが記憶に及ぼす影響」日本グループ・ダイナミックス学会50回大会(京都, 3月).
- <学会発表> 「プライミングに着目した再検査効果の生起メカニズムに関する研究」日本教育心理学会第44回総会(大阪, 9月).
- <学会発表> 「自伝想起課題を使用した場合の自己関連付け効果に及ぼすテスト時の想起意図の役割」日本心理学会第67回大会(東京, 10月).
- <学会発表> 「Intentional use of memory in autobiographical task and self-reference effect.」The Psychonomic Society 44th Annual Meeting (Canada, November).
- <シンポジウム> 「自己, 他者, 内側前頭前野」企画者: 佐藤徳(東京大学), 野村理朗(名古屋大学), 話題提供者: 堀内孝(東海女子大学), 野村理朗(名古屋大学), 指定討論者: 大平英樹(名古屋大学), 子安増生(京都大学), 日本心理学会第67回大会(東京, 10月).

<シンポジウム> 「自伝的記憶の理論と方法—研究の現場から」 企画者：佐藤浩一（群馬大），越智啓太（東京家政大学），司会者：太田信夫（筑波大学），話題提供者：佐藤浩一（群馬大），下島裕美（杏林大），堀内孝（東海女子大学），槇洋一（都立大），越智啓太（東京家政大学），日本心理学会第67回大会（東京，10月）。

<講演> 「性格の心理学—自分と他人の性格を正しく理解するために—」 東海女子大学出前授業（白川高校，5月）。

<その他> 「核磁気共鳴機能画像法（fMRI）を用いた自己知識の多次元性・多面性に関する研究」 文部省科学研究費補助金（若手研究(B)，課題番号15700223）。

#### 宮 本 邦 雄（MIYAMOTO, Kunio）

<論文> 「愛着研究の新しい動向—乳児の鎮静化作因と顔認知—」 『東海女子大学紀要』第22巻，pp.97-107.

<論文> 「雄ラットの養育的行動—父・母・仔共存場面とテスト場面での検討」（小笠原歩）『動物心理学研究』第53巻，pp.114.

<学会発表> 「ラットにおける胎児期アルコール暴露の影響」 日本心理学会第67回大会（東京大学，9月）。

<学会発表> 「母親の育児意識と乳幼児の行動(1)—子育て支援との関連—」(連名発表) 日本心理学会第67回大会（東京大学，9月）。

<学会発表> 「母親の育児意識と乳幼児の行動(2)—保育園児の事例研究—」(連名発表) 日本教育心理学会第45回総会（大阪教育大学，8月）。

<学会発表> 「雄ラットの養育的行動—父・母・仔共存場面とテスト場面での検討」（連名発表） 日本動物心理学会第63回大会（筑波大学，10月）。

<講演> 「考えよう 大人の目線と子どもの目線」（幼稚園・小学生1年から4年） 岐阜市教育委員会主催，岐阜市家庭教育学級指導者研修会第1回（岐阜市ハートフルスクエアG，5月）。

<講演> 「考えよう 大人の目線と子どもの目線」(小学5年から中学校) 岐阜市教育委員会主催，岐阜市家庭教育学級指導者研修会第2回（岐阜市ハートフルスクエアG，6月）。

<講演> 「健康シリーズ・悩める心の理解とケア第2回 憂鬱な気分から抜け出すには」 岐阜市生涯学習センター主催，岐阜市生涯学習センターレクチャー（岐阜市ハートフルスクエアG，6月）。

<講演> 「子育ての心理」 岐阜県助産師研究会主催，（岐阜市ハートフルスクエアG，6月）。

<講演> 「人間関係を理解する」 ぎふケア・コミュニケーター協会主催，ぎふケア・コミュニケーター協会心理学基礎講座（岐阜市ハートフルスクエアG，9月）。

<講演> 「人間の個性を理解する」 ぎふケア・コミュニケーター協会主催，ぎふケア・コミュニケーター協会心理学基礎講座（岐阜市ハートフルスクエアG，9月）。

#### 矢 澤 久 史（YAZAWA, Hisashi）

<論文> 「学習性無力感の生起事態における特性的自己効力感と免疫機能の変動」 『心理学研究』第73巻，pp.472-479.

<論文> 「教室における座席位置と学習意欲，学業成績との関係」 『東海女子大学紀要』第22号，pp.109-117.

吉 田 綾 乃 (YOSHIDA, Ayano)

- <論文> 「自己卑下的コミュニケーションが適応に及ぼす影響の検討—文化的規範の内在化の視点から—」 広島大学生物圏科学研究科博士論文.
- <論文> 「自己卑下呈示の直接的・間接的な適応促進効果の検討」『実験社会心理学研究』第42巻, 第2号, pp.120-130.
- <論文> 「自己呈示規範の内在化傾向に関する探索的研究—日本人大学生における検討—」『自己心理学研究』第1巻, pp.27-39.
- <学会発表> 「関係初期の自己卑下的コミュニケーションは親密な関係性の構築を促進するか—縦断的調査による検討—」 日本社会心理学会第44回大会 (東洋大学, 9月).
- <その他> 「自己卑下的コミュニケーションが適応に及ぼす影響の検討—文化的規範の内在化の視点から—」 抑制開示研究会 (岐阜市, 8月).

## 人 間 関 係 学 科

上 原 巖 (UEHARA, Iwao)

- <著書> 『森林療法序説—森の癒し研究ことはじめ—』 全国林業改良普及協会, p.192.
- <論文> 「市民グループにおける森林療法研究の試み」『中部森林研究』第52号, pp.137-140.
- <論文> 「高等学校教職員の森林保健休養に関する意識—長野県佐久地域を対象として—」『中部森林研究』第52号, pp.141-144.
- <論文> 「森林療法—森林利用の福祉・健康増進の提言」『林業技術』No.731, pp.16-19.
- <論文> 「森林療法について—その概要と展望」『ぎふ精神保健福祉』第40巻第1号, pp.173-180.
- <報文> 「癒しのフィールドとしての森・緑の可能性」『全国雑木林会議とかち大会報告書』pp.67-96.
- <報文> 「森林の効用とその利活用—森林療法の現場から—森林療法の環境とは—」『グリーンエージ』5月号, pp.8-11.
- <報文> 「森林活動による発達障害者の療育効果に関する研究—森林環境を利用した森林療法」『グリーンレター』Vol.25, 20周年記念号, pp.72-73.
- <報文> 「平成14年度 高齢社会における森林空間の利用に関する調査」, 林野庁, pp.67-85.
- <公的保養事業マニュアル> 平成15年度長野県エコメディカル&ヒーリングビレッジ事業『森の癒しマニュアル』(長野県).
- <学会発表> 「森林療法における心理的效果—市民研究グループによる事例より—」 第114回日本林学会大会 (岩手大学, 3月).
- <学会発表> 「学校林を使った森林療法の取り組み」 日本環境教育学会第14回大会 (愛知教育大学, 6月).
- <学会発表> 「森林内におけるセルフカウンセリングの効果」 日本林学会中部支部第52回大会 (名古屋大学, 10月).
- <学会発表> 「森林環境を使ったカウンセリングの可能性」 日本カウンセリング学会第36回大会 (九州保健福祉大学, 11月).
- <シンポジウム> 「森林療法の視点から」 大阪府枚方市政55周年記念里山フォーラム (枚方市 ラポール枚方, 2月).
- <シンポジウム> 「雑木林を利用した自閉症児の森林療法の事例」 N P O子ども健康フォー

- ラム「第4回 子どもの療養環境研究発表会」(愛知県大府市 あいち小児保健医療総合センター, 6月).
- <シンポジウム> 「いまの時代こそ森林療法」 第12回全国雑木林会議(滋賀県マキノ町, 10月).
- <シンポジウム> 「森林との新しいつきあいを求めて—森林と心身のリハビリテーション—森林療法」 第52回日本林学会中部支部大会(名古屋市 名古屋大学, 10月).
- <シンポジウム> 「森づくりワークショップ—森の恵みを活かす森林療法」 静岡県西部農林事務所(浜松市 「森の家」, 11月).
- <講演> 「東京都近郊林における森林療法導入の可能性」(東京都林務部, 2月).
- <講演> 「知的障害者療育における森林療法の効果」 長野県立若槻養護学校職員研修会(長野市, 3月).
- <講演> 「人・環境・心—いまのカウンセリングの現場から—」 長野県立軽井沢高等学校PTA総会研修会(軽井沢町, 4月).
- <講演> 「森林療法の今とこれから」 第7回森林療法研究会(軽井沢町中央公民館, 5月).
- <講演> 「問題を抱えた生徒に対するカウンセリングマインドと教職員のメンタルヘルス」 長野県小諸商業高等学校教職員研修会(小諸市, 5月).
- <講演> 「森林から医療・福祉を考える—森林カウンセリングを中心として」 福井県立農林漁業大学校(福井市, 6月).
- <講演> 「長野県北信地域における森林療法の可能性を考える」 長野県北信林業振興会研修会(長野県中野市 アップルシティ中野, 7月).
- <講演> 「千葉県における森林療法の可能性を考える」 千葉県(千葉市 千葉県立リハビリテーションセンター, 7月).
- <講演> 「北海道における森林療法の可能性を考える」(帯広市 北海道営林局帯広分局, 9月).
- <講演> 「ヨーロッパの森における健康づくり」 第11回森林療法研究会(軽井沢町 星野温泉「野鳥の森」, 9月).
- <講演> 「問題を抱えた生徒に対するカウンセリングマインドと教職員のメンタルヘルス」 長野県望月高等学校教職員研修会(望月町, 9月).
- <講演> 「ドイツにおける高齢者の森林療法—森林を使った健康づくりとリハビリテーション」 2003年東海女子大学公開講座(各務原市, 10月).
- <講演> 「森林療法の可能性を考える」 富山県森づくり婦人連合会(魚津市公民館, 11月).
- <講演> 「みんな違って、みんないい」 岐阜市中央青少年会館シニアリーダークラブ(岐阜市, 11月).
- <受託研究> 「平成15年度 森林の健康と癒し効果に関する科学的実証調査」 林野庁.
- <受託調査> 「平成15年度 ドイツ森林療法海外調査」 林野庁・日本システム開発研究所.
- <受託事業> 「平成15年度 エコメディカル&ヒーリングビレッジ事業」 長野県林務部森林保全課.
- <受託事業> 「平成15年度 森林と人との共生モデル企画実践事業」 岐阜県農山村政策課.
- <受託事業> 「平成15年度 癒しの道・南飛騨森林浴回廊21緊急整備事業」 岐阜県農山村政策課.
- <受託事業> 「平成15年度 岐阜県の森30年構想事業」 岐阜県農山村整備課.
- <受託事業> 「平成15年度 森づくり推進プラン」 東京都農林水産部林務課.
- <受託事業> 「平成15年度 小野長寿の郷構想」 兵庫県県土整備部県土企画局.

- <連載> 森林療法のいま『全国林業改良普及協会メールマガジン Rinka』
  - 「森林療法とは何か—森林療法研究会の活動」第19号.
  - 「森林でのカウンセリング効果」第20号.
  - 「保養地と森林療法」第21号.
  - 「対象者別の森林療法の構築を目指して」第22号.
- <連載> 軽井沢で森林療法を考える『タウン情報紙 軽井沢ニュース』
  - 「ドイツの森林浴について」9月15日号.
  - 「軽井沢での森林療法の可能性—森林療法の条件を検証する」10月15日号.
  - 「知的障害者の森林療法」11月15日号.
  - 「森林カウンセリング」12月15日号.
- <市民講座> 森林療法とは何でしょう～みどりのセラピー入門～, 岐阜ぱ・る・る教室コミュニケーション・カレッジ
  - 「身近な森林を活かした森林療法（クナイプ療法）」(岐阜市, 10月).
  - 「身近な森林を活かした森林療法（知的障害）」(岐阜市, 11月).
  - 「身近な森林を活かした森林療法（カウンセリング）」(岐阜市, 12月).
- <研修講座> 「農業教育現場におけるカウンセリングマインド」農林水産省経営局平成15年度農業者研修教育施設指導職員新任者研修（長野県茅野市 八ヶ岳実践農業大学校, 6月）.
- <研修講座> 「長野県エコメディカル&ヒーリングビレッジ事業トレーナー養成講座」（長野県信濃町役場, 11月）.
- <ワークショップ> 「お世話になった学校林をきれいにしよう」長野県立若槻養護学校（長野市, 3月）.
- <ワークショップ> 「癒しの森を探しに行こう」第6回森林療法研究会（長野県軽井沢町星野温泉「野鳥の森」, 4月）.
- <ワークショップ> 「身近な森林公園を使った回想法」第7回森林療法研究会（長野県軽井沢町星野温泉「野鳥の森」, 5月）.
- <ワークショップ> 「森林カウンセリング」帯広市森づくりシンポジウム（帯広市, 9月）.
- <ワークショップ> 「教職員のための森林カウンセリング」長野県軽井沢高等学校教職員研修会（長野県軽井沢町星野温泉「野鳥の森」, 10月）.
- <ワークショップ> 「森林カウンセリング」富山県森づくり婦人連合会（魚津市, 11月）.
- <ワークショップ> 「都会のビジネスマンのための森林療法プログラム」第12回森林療法研究会（長野県軽井沢町, 12月）.
- <座談会> 「岩手における森林療法の可能性を考える」岩手大学農学部（盛岡市, 3月）.
- <その他> 「新春随想 森林療法の初夢」『グリーンエージ』1月号, pp.30-31.
- <その他> 「緑の森林は心身の良薬—高齢者の健康づくりに」『日本農業新聞』6月10日朝刊.
- <その他> 「森林療法—医療・福祉で活用」『信濃毎日新聞』6月15日朝刊.
- <その他> 「森林の癒し機能を再考する—北信における森林療法の可能性」テレビ北信7月放送.
- <その他> 「Wandern macht glücklich」『Mindelheimer Zeitung』9月5日朝刊.
- <その他> 「環境と共生した地域を」『十勝毎日新聞』9月18日朝刊.
- <その他> 「癒しの場の可能性を探る」『十勝毎日新聞』9月22日朝刊.
- <その他> 「癒される町めざして—森林で心と体を健康に」『信濃毎日新聞』11月6日朝刊.
- <その他> 「Dr. Iwao Uehara und die Waldkinder」『Augsburger Zeitung』10月25日朝刊.

- <その他> 「実習ノートに対するコメントの書き方と活用」第14回東海・北陸ブロック社会福祉実習研究大会（金城学院大学，12月）。
- <その他> 「ドイツにおける高齢者の森林療法」『各務原市タウン情報紙 にらめっこ』Vol.97.
- <その他> 「ドイツの森の幼稚園」NHKラジオ第一『ラジオタ刊』12月23日放送。
- <その他> 「「生きがいについて」講読ゼミの試み」『東海女子大学紀要』第22号，pp.119-131.

浦 崎 武（URASAKI, Takeshi）

- <分担執筆> 「第2講 保育ソーシャルカウンセリングの理論」（横井一之・吉弘淳一編）『保育ソーシャルカウンセリング』建帛社，pp.15-28.
- <論文> 「高機能広汎性発達障害をもつ生徒に対する校内特別支援活動の事例」『発達・療育研究』第19号，pp.1-15.
- <報文> 「中学校における高機能広汎性発達障害への2年間の支援～役割分担による対応について～」『平成14年度 愛知県臨床心理士会 学校臨床心理士報告書』pp.22-23.
- <学会発表> 「自閉症児の他者との関わりと身体―身体形成における情動の表出と枠，同一化，創造性について―」日本心理臨床学会第22回大会（京都国際会館，9月）。
- <シンポジウム> 「信号機に魅了された高機能広汎性発達障害をもつ幼児の育ち」檀溪事例研修会 事例提供者（名古屋市 名古屋国際会議場，5月）。
- <シンポジウム> 「軽度広汎性発達障害」第8回学校臨床心理士全国研修会分科会 指定討論者（神戸市 神戸国際会議場，8月）。
- <講演> 「コラージュの創作について」愛知県立稲沢東高校生徒講習（稲沢市 稲沢東高校，1月）。
- <講演> 「年度始めの生徒間交流レクレーション」愛知県立稲沢東高校現職教育（稲沢市 稲沢東高校，3月）。
- <講演> 「話の聴き方，応え方の実践（ロールプレイ）」滝学園現職教育（江南市 滝学園，5月）。
- <講演> 「臨床心理士の仕事」名古屋市立北山中学校特別授業（名古屋市 北山中学校，6月）。
- <講演> 「障害児との関わりについて」瑞浪市保育研究協議会保育士研修会（瑞浪市 瑞浪市役所，7月）。
- <講演> 「高機能広汎性発達障害児の問題行動への対応について」瑞浪市立一色保育園保育士事例検討会（瑞浪市 一色保育園，7月）。
- <講演> 「母親に対する理解と関わりについて」瑞浪市保育研究協議会保育士研修会（瑞浪市 釜戸公民館，8月）。
- <講演> 「対人関係を苦手とする障害児との関わりについて」瑞浪市立桔梗保育園保育士事例検討会（瑞浪市 桔梗保育園，8月）。
- <講演> 「思春期を生きる子どもの心の風景」名古屋市立北山中学校学区PTA（名古屋市 北山中学校，10月）。
- <講演> 「人と人との繋がりについて」第4回尾中地区高等学校生徒指導研究会教育相談部会研修会（一宮市 一宮工業高等学校，10月）。
- <講演> 「コミュニケーション・面接技法」岐阜県地方自治大学校主催 平成15年度スキルアップ研修（福祉ボランティア講座）（岐阜市 岐阜県民ふれあい会館，10月）。

＜講演＞ 「相談業務の基本」 岐阜県社会福祉協議会主催 平成15年度市町村社協相談業務従事者研修会（岐阜市 岐阜県福祉農業会館，11月）.

＜講演＞ 「対人関係が気になる子どもへの対応について」 瑞浪市立稲津保育園保育士事例検討会（瑞浪市 稲津保育園，11月）.

＜講演＞ 「転換ヒステリー症状を示す生徒への対応について」 名古屋市立中央高校（夜間定時制）現職教育（名古屋市 中央高校，12月）.

大 西 信 行 (OHNISHI, Nobuyuki)

＜執筆代表者＞ 『岐阜県教育史 通史編近代三』 岐阜県教育委員会.

岡 本 真理子 (OKAMOTO, Mariko)

＜作品＞ 「加納天満宮御本殿新築工事設計」(加納天満宮，10月).

＜シンポジウム＞ 「まちづくり・景観形成シンポジウム」 岐阜県主催（岐阜ルネサンスホテル，12月）.

川 島 大 司 (KAWASHIMA, Daiji)

＜学会発表＞ 「作業態度の研究(1)」 日本教育心理学会第45回大会（大阪国際会議場，8月）.

＜学会発表＞ 「性能的性格(2)」 日本応用心理学会第70回大会（流通科学大学，9月）.

白 幡 富 夫 (SHIRAHATA, Tomio)

＜分担執筆＞ 「第5章 指導の進め方」 『ポーター乳幼児教育プログラムを学ぶ ―指導者養成研修セミナー資料―』 N P O 法人日本ポーター協会，pp.38-47.

＜その他＞ 「障害・個性・多層水準支援」 『ポーター通信』 No.69，N P O 法人日本ポーター協会，p.1.

新 家 めぐみ (SHINKE, Megumi)

＜論文＞ 「障害者福祉改革における自立像(上)―とくに経済的自立からの移行に着目して―」 『仏教福祉学』 第8号，pp.65-84.

高 野 盛 光 (TAKANO, Morimitsu)

＜分担執筆＞ 「Trial Level 01：データ処理演習レベル1」(今井昌彦・高野盛光・松尾良克・本橋 進著) 『Practical EXCELism expansion+』 D-Sites. com 社，pp.8-17.

＜分担執筆＞ 「[1]日本語入力システム「MS―IME」」「[2]マウスの使い方」「[3]「Word」の起動と終了」「[4]「Word」の入力画面」「[13]文書デザイン検定」(今井昌彦・水野博貴・高野盛光・松尾良克・本橋 進著) 『Practical WORDism BD+HP』 D-Sites. com 社，pp.3-9，pp.97-102.

＜学会発表＞ 「学・官・民（N P O）共同教育体制の構想―「地域情報推進員養成講座」の実施―」 中部教育学会第52回大会（信州大学，6月）.

＜その他＞ 『各務原市情報推進委員養成講座』ハードウェア担当（各務原産業文化センター，7月，9月，10月）.

＜その他＞ 『各務原市福祉協議会HP作成』アドバイザー（12月～）.

＜その他＞ 『各務原市市民相談課HP作成』アドバイザー（12月～）.



- <その他> NPO法人各務原シティコンソーシアム監事.  
<その他> 東海女子大学・東海女子大学幹事 (中部教育学会).

高 橋 利 行 (TAKAHASHI, Toshiyuki)

- <論文> 「エージェント機能を取り入れた生涯学習支援情報ネットワーク」『東海女子大学紀要』第22号, pp.133-140.  
<講演> 「いつでも生涯学習・いつまでも生涯学習」東海女子大学公開講座 (東海女子大学附属図書館大セミナー室, 10月).

富 田 理 恵 (TOMITA, Rie)

- <分担執筆> 「A Response」(日英歴史家会議編)『State and Empire in British History: Anglo-Japanese Conference of Historians 2003』日英歴史家会議, pp.66-62.  
<シンポジウム> 「A Response」日英歴史家会議委員会主催, 第4回日英歴史家会議 (京都市国際交流会, 9月).  
<学会発表> 「三つの権利の要求」日本カレドニア学会 (駒澤大学, 10月).  
<講演> 「エディンバラの二つの街」朝日カルチャーセンター横浜 (ルミネ横浜, 12月).

藤 井 康 寿 (FUJII, Kouju)

- <論文> 「OpenGL による橋梁上部工と下部工の地震時衝突・離間現象の再現とその評価」(藤井康寿, 片山延洋, 深谷定充, 中川建治, 村瀬安彦)『土木構造・材料論文集』第19号, pp.85-92.  
<国際会議> 「ThreeDimensional Graphics Visualized Method of Primary Functions of Complex Variable using VRML」(K. Fujii, F. Takeshita and K. Nakagawa) EPMESC IX - the 9th International Conference Enhancement and Promotion of Computational Methods in Engineering and Science, CD-ROM, (University of Macau, 3月).

山 田 隆 (YAMADA, Takashi)

- <論文> 「地域通貨の発展にはたす情報通信の役割」(川浦康至氏との共著)『東海女子大学紀要』第22号, pp.141-157.  
<論文> 「写真コミュニケーションの社会史—カメラの革新と写真意識の変化—」『東海女子大学紀要』第22号, pp.159-175.